





@須藤竹材店



@須藤竹材店 工場



@放課後児童クラブ



@放課後児童クラブ



@地域の4保育園



@高齢者福祉施設

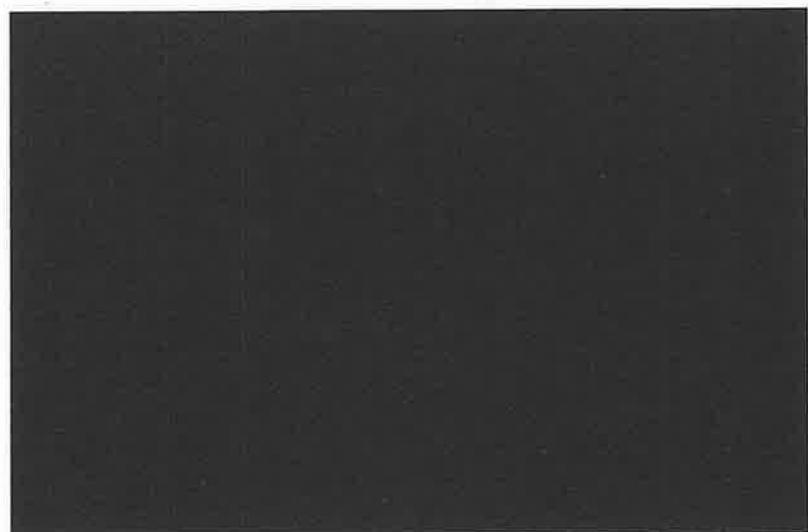
中学生だけじゃない！ 地域で生まれた変化！

【みずいろ公園プロジェクト】

- 自治会単位のプロジェクト
- 子どもたちと進める理由
- 新しいつながり



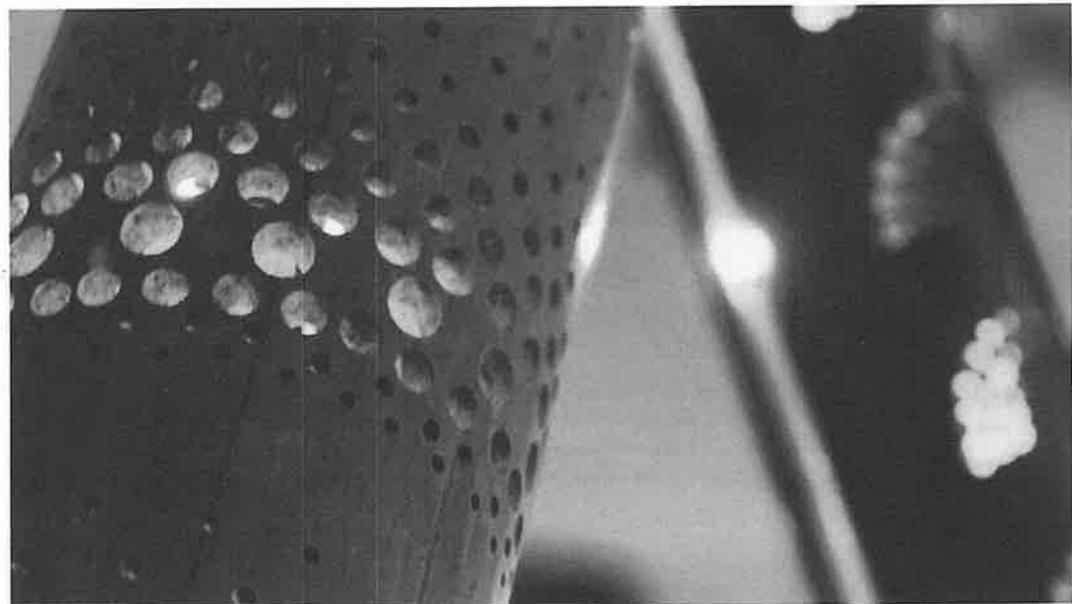
MASUDA CITY



西益田の未来のために！ 私たちが学んだこと！

- ①子どもたちの学びに参画することが
～大人の意欲を高める。
- ②目的の共有によって、多様なひとが繋がり、
活動を発展・持続させる。
- ③まずやってみることで、活動の広がりが生まれ、
さらに新たな活動が生まれる。

SHOGOYA CITY



ひとつづくり施策

基礎自治体の目的

持続可能な地域づくりのために、
持続可能なひとつづくりを！

未来の地域の担い手（市民）の育成

子ども（未来の担い手）はどこで育つの
⇒学校だけではない
⇒地域全体がフィールド
⇒今こそ「地域の教育力」の出番

なぜ、子どもたちを中心に据えるのか？

ひとがつながり
⇒活動をつくためには
⇒場所（拠点）&メンター（伴走者）

社会教育コーディネーター

小中学生↔公民館 高校生・若者↔ユタラボ

地方創生 ⇒ 持続可能な地域づくり
↔ 持続可能なひとつづくり

目の前の課題解決 ⇒ 一般行政
未来の課題解決 ⇒ 教育行政

行政主導では行政施策は実現できない時代

地域＆産業も、一番の課題は「後継者」

「対話」による「つながりづくり」に手ごたえ

ひとがつながり ⇒ 活動をつくためには
⇒ 場所（拠点） & メンター（伴走者）

小中学校 ⇒ 公民館 高校・若者 ⇒ ユタラボ

子ども（未来の担い手）はどこで育つの ⇒ 学校だけではない
⇒ 地域全体がフィールド ⇒ 今こそ「地域の教育力」の出番

これからの社会教育のキーワード

地域自治組織との協働 (まちづくり団体)

豊川公民館 × ひとづくり部会 × 小中高生



西益田公民館 × 次世代育成検討委員会 × 中高生



益田公民館×ふれあい部会×小学生



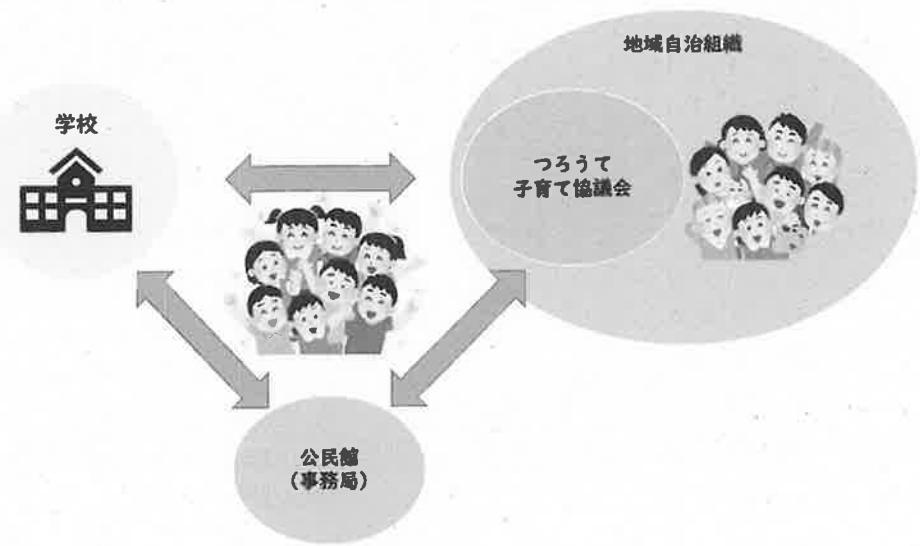
小野公民館×生涯学習・産業部門×小学生



二条公民館×くらし部会つろうて班×小学生



地域



V U C A (ブーカ) の時代

V Volatility 変動性 不安定性

U Uncertainty 不確実性

C Complexity 複雑性

A Ambiguity 曖昧性

今の子ども達の65%は、大学卒業時に、
今は存在していない職業につく

今後10年から20年で、雇用者の47%の仕事が
自動化される

関心と興味 → ワクワク

心のエンジンの駆動

当たり前を疑う

真面目にやりなさい

何でもいってみる

ちゃんとやりなさい

違いを楽しむ

早くやりなさい

人が幸せに生きるために大切なものは？

ハーバード大学の研究で…

724人を75年にわたり追跡調査

人を幸せにし、健康にするには…

何よりも良い人間関係

家族、友人、コミュニティ等、周りとのつながりを持っている人はそうでない人よりも幸せで健康で長生きする

身近な人たちとの関係の質が重要である

いざという時に本当に頼れると感じている人の関係が大切⇒80代でも記憶が明瞭

心のエンジンの駆動

他者との出会い

偶発

多様な体験の機会(情報)を与える

親の8割は
サラリーマン

何をいってもいい

人の言うことに対して否定的な態度を取らない

意見が変わってもいい



【寄稿】

ひとが育つまち・1—ふるさとは「ひと」(1)

〈ちいさな社会〉を愉快に生きる (19)

東京大学大学院教授 牧野篤

<https://www.yaruki-lab.jp/makino2-19/>